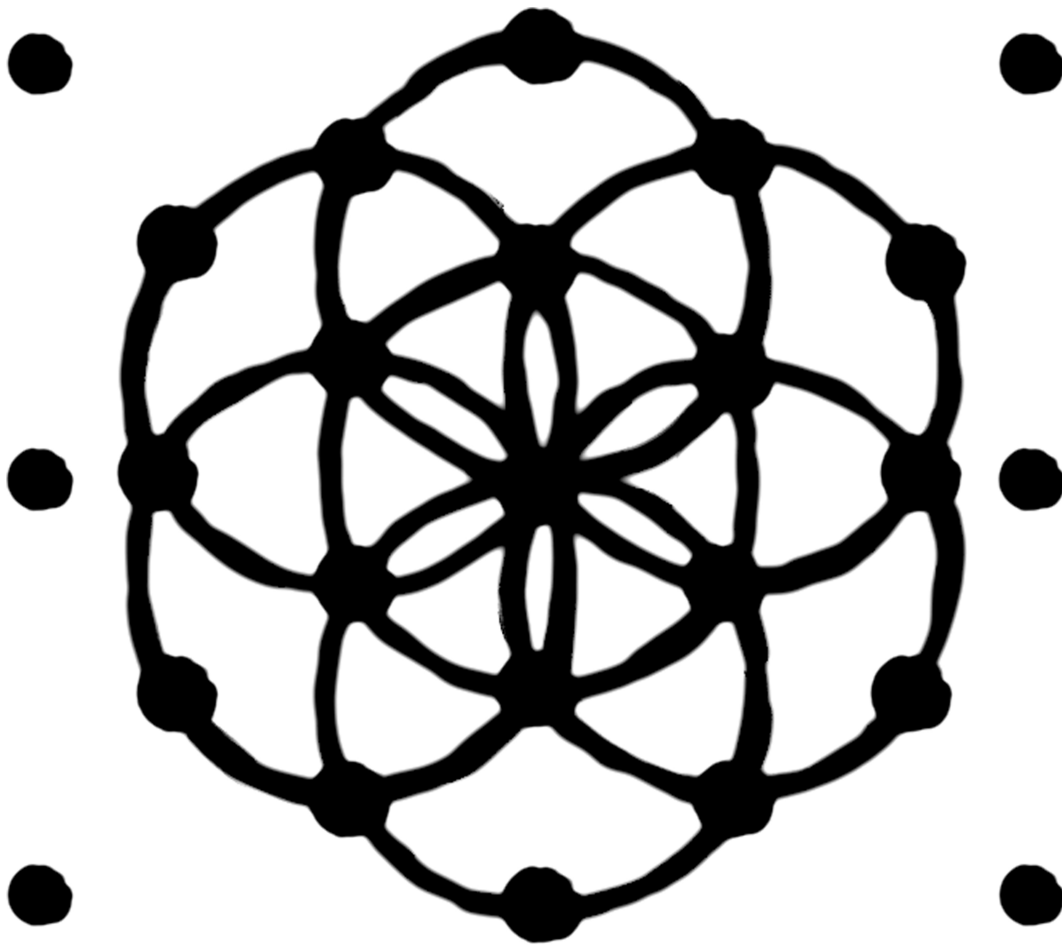


WARNING! THIS IS UNPLEASANT WORK, FICTION, ADULT ONLY. MINORS,
THOSE WHO DISLIKE UNPLEASANT EXPRESSION, DO NOT VIEW.

警告！これは不快な作品,フィクション,成人向けです.未成年や不快表現が嫌いな方は見ないで下さい.



帝国少年作品集

TableTop RolePlaying CardGame
berufuadain TRC Rule&Supplement

4

世界

サブメントセクション

現実の世界同様、ゲームの舞台であるゲーム世界にも様々な要素が存在します。ここではその要素を大まかに紹介しています。



多世界

ゲーム世界はいくつか存在します。(人界、妖精界等)ゲームでよく扱う世界は「人界」です。ここではメインのゲーム舞台である人界について紹介しています。



宇宙と星

人界は現実世界同様、宇宙空間があり星がある世界です。恒星を中心に惑星が周って恒星系を成し、それらが集まり銀河系を形成しています。



知的生命体と一大文明社会圏

惑星の中には文明や社会を持つ知的生命体が存在する星が多数存在します。そしてそれらの惑星は恒星間航行で繋がれており、銀河系に一大文明社会圏を築いています。



人族と社会

文明社会を築いている知的生命体は多種多様ですが、その多くは概ね人の形をし、言葉等のコミュニケーション能力を持ち、社会性を持ち、国家や社会を築くほど高度な知性を持ちます。これらの種を総称して人族と呼びます。



世界の雰囲気と社会文明レベル

世界はいわゆる「ファンタジー」と呼ばれる剣と魔法の世界です。

(人族の種類にもよりますが)人族の文明レベルは概ね、現実世界の中世と同程度です。

しかし、過去に高度な科学力を持った文明が滅亡しており、その科学力が遺跡を通して「魔法」という形で現代に伝わっている為、遺跡を利用した社会の文明レベルは現実世界の我々を遥かに凌ぐモノとなっています。



人族以外の生命体

世界には人族以外にも動物や凶暴な怪物、魔物、魔獣等々様々な生命体が存在します。その特徴は種によって様々で一言では言い表せません。人族との違いに明確な基準はありませんが、概ね、社会性、文明や社会を築く高度な知性の有無です。



破壊神

凶暴な魔獣でもその凶暴さには空腹や縄張りを侵された等々それなりの理由があります。

しかしこの世界には全ての生命体に対し、理由もなくひたすらに敵対行動をとる生命体が存在します。それが破壊神です。

破壊神は知性を持たず生命体を滅するという破壊本能に沿って活動する存在ですが、なぜそういった行動をとるのか、どんな生理機能を持っているか、等々その生態は現在でも判明していません。



ヨドミと発光石

破壊神は「ヨドミ」と呼ばれる緑に発光する霧に生命体が触れる事で生まれます。

ヨドミは殆どの大気中に存在し、濃度が濃くなる程、生命体を破壊神に変異させる力が増します。破壊神が死ぬとその体は塵の様に崩れ、濃度の濃いヨドミとなって周囲に拡散します。

またその跡から一段と強い光を発する緑色の結晶石が現れます。この光はヨドミより強力で、光を浴びた生命体は一瞬で破壊神へと変貌します。

ヨドミ、および破壊神は生命体が存在する場所に必ず出現します。破壊神の特徴(姿形や能力等)は様々で概ね取り込んだ生命体の特徴を受け継いでいます。



寺院(アンセム)と発光者(アルティマ)

ヨドミの力は凄まじく、通常この世界では生まれた赤子はほぼ死産します。(概ね破壊神と化す為)しかし、人族に対抗手段がない訳ではありません。それが寺院と発光者です。

寺院は人族の一種族「グリモア」が作った装置です。この寺院に近ければ近いほどヨドミの力が弱まり、生命体を破壊神に変異させる力を弱めます。また、寺院内では出産しても赤子が破壊神化する事は無い為、多くの社会で出産は寺院内で行われます。

発光者とは人族に偶に生まれる特殊な人族です。寺院の様に赤子を救う力はありませんが、能力を発すると頭髮が発光し、ヨドミの力を弱める特徴があります。その力の影響範囲は寺院以上です。



グリモア(協定の民)とグラン・グリモア(大協定)

グリモアは現文明初期から存在する古き民族、賢者集団、宗教集団です。古き時代より多くの惑星の土地に寺院を作り、その道すがら発光者を集めて教育し、破壊神に苦しむ人族の元に派遣しては多くの国家建国を助けたといえます。

その際、彼らは建国助成の代償として国家に大協定と呼ばれる条約の締結を求めています。

大協定とは、例え戦争をしている敵対国家間といえど、破壊神に対しては国家を超えて人族社会全体で協力し、事にあたると定めた協定です。

グリモアが始めたこの事業は成功し、現在、ほぼ全ての国家は大協定の条約を締結しています。また、この働きにより、グリモアは国家間の調停役などもこなす様になりました。



グリモアの宗教観と現人神

グリモア達には独自の宗教があり、その宗教観を重要視していました。自らを神々に使える使徒と名乗り、大協定や国家間の調停は彼らのあがめる最高神の名「神王」によってなされ、彼らの派遣する発光者を「現人神」とあがめていました。

また、各国家に派遣された発光者はそこにいるだけでヨドミを排除する為、その地に住む人々もやがて現人神とあがめる様になりました。

現在、この宗教観は調停や大協定と共に世界全体に広がっています。



命の光と現人神

命の光とは魔法などの超常の力の源です。また発光者は常人に比べ膨大な命の光を放ちます。それ故、発光者は戦争の行方を左右する存在とされています。

現在、各地で生まれた発光者はオルピノの元に集まり教育を受け再び生まれた国家に帰っていきます。そしてそこで現人神となり自国の戦争に駆り出されたり破壊神の討伐に従事します。



軍神と神将

発光者達は現在、グリモアの宗教観に沿って、軍神と呼ばれています。また彼らはグループ、神族を組みますが、そのリーダーは神将と呼ばれています。



発光者の業務

発光者の業務は社会治安全体に及びます。発光者は担当の領地の領主となり、その地を収め、現実社会の領主や騎士貴族、警察や軍隊の様な仕事をこなします。

現人神達は日々破壊神の討伐を行っていますが、破壊神は日々出没します。

またそれ以外にも、通常のモンスター討伐や犯罪者に対しての治安行動、国家間戦争の戦闘要員に駆り出されるなど激務です。

発光者の数は多くなく、それ故、小規模の破壊神やモンスターや犯罪者の討伐は後回しにされます。



アウトロー(法外者)とガンディーヴァ(守護者)

世界には発光者程強くはないモノの、鍛錬によって手に入れた武力や命の光を使用した超常の力で、荒々しい世界を生き抜く者たちがいます。

彼らは法や秩序を嫌い自由人として世界を旅しています。大まかですが、現実社会のアウトローに近い存在ともいえます。金さえ払えば悪事も働く者たちですが、その腕を買われ、小規模のモンスター退治などを依頼をされる事があります。中には善良な者達もあり、現在、彼らは、古い民話に登場する守護者の名をとってガンディーヴァと呼ばれています。







帝国少年作品集 ベルファダイントRC 4

2025年7月20日第1版第1刷発行

著者、及び発行者 **TEI**

Copyright © TEI 2025 All Rights Reserved.

PRINTED IN JAPAN

◇この作品集は[アナログゲームのルールブック]に見せかけた画集です.[表現方法][作品集の構成,編集]は乱雑で,未完成作品も収録されています.

◇この作品集について[複写,または複製][その所持][その公開,配布]を許可します.公開,配布時は次に注意してください.[著作権は放棄しない.著作権はTEIに帰属する][公開,配布をするだけで勝手に著作権が譲渡されてしまう様なサイト等にはUPしない][作品集の内容を変えない.作品集全てを一括で公開,配布する.必ず奥付も含める][公開,配布の媒体は問わない]